



# 苦楽を共に50年

## 第60回金婚夫婦表彰式



▲金婚夫婦の皆さん

町と熊本日日新聞社は第60回金婚夫婦表彰式を9月4日、南の関うから館で開催しました。今年、表彰を受けたのは昭和43年に結婚された19組のご夫婦。これまで歩んできた年月を思い出しながら、夫婦の絆を確かめ合いました。

式典では、佐藤町長が「皆さんは、私たちが進むべき道を示す手本です。この表彰は将来へ進むための通過点。これからも夫婦仲睦まじく、ご健勝で暮らされますよう祈念します」と祝福しました。

参加者を代表して、三浦研志さん・芙美代さん夫妻(下坂下)が表彰状と記念品を受け取り「今日は表彰・記念品を賜り厚くお礼申し上げます。これからも健康に気を付けて、地域の役に立ちたいと思っています」と謝辞を述べました。



▲熊本日日新聞社の池下事業局長から記念品を手渡される参加者



▲謝辞を述べた三浦夫妻(右)

### 表彰を受けられたご夫婦

(敬称略)

- |                |                |               |                |               |              |                |              |                |                |
|----------------|----------------|---------------|----------------|---------------|--------------|----------------|--------------|----------------|----------------|
| 猿渡 厚臣・すわ子(下坂下) | 田中 英賢・真沙子(高久野) | 熊谷 正純・喜代子(豊永) | 石井 眞洋・貴美子(下坂下) | 赤木 義人・モモ子(小原) | 西田 正利・幸子(宮尾) | 三浦 研志・芙美代(下坂下) | 馬場 傳・照代(上坂下) | 福本 節男・静子(関東)   | 瀨川 盛義・久美子(上坂下) |
|                | 下河 洋司・クニ子(関村)  | 田代 重人・洋子(宮尾)  | 阪田 次利・柳子(上長田)  | 末竹 貞士・末子(豊永)  | 野田 晏久・静子(相谷) | 松永 征史・静子(上坂下)  | 内村 健二・豊子(関町) | 浦塚 久二男・徳恵(上坂下) | 久保田 讓・悦子(上長田)  |

## 廃食油が燃料に 環境教育見学バスツアー

町は8月22日、二酸化炭素排出抑制対策事業の一環で環境教育見学バスツアーを開催しました。

この日は第一小学校児童クラブや一般の参加者を含む47人が、自然と未来株式会社と熊本市西部環境工場を見学。廃食油が精製され100パーセントのBDF(バイオディーゼル燃料)になる工程やごみ処理の工程について学びました。

参加者たちは、クレーンでごみを運ぶ様子を間近で見たり、ごみが燃える様子を映像で体感したりするなど、環境について改めて考える一日になりました。

※BDF

植物油(廃食油など)を原料とした燃料BDF使用によるCO2排出量はゼロカウントです。



▶担当者からの説明を熱心に聞く参加者たち



▶笑顔でメダカを見せる参加者たち

## 貴重なメダカを観察 エコあくもとでメダカすくい挑戦

エコあくもと(下坂下)は8月18日、同施設の貯水池でメダカすくい挑戦を開催しました。

この日は同施設の職員が講師として、参加者たちに説明。施設の紹介や施設見学を行いました。貯水池にいる生物や、メダカが絶滅危惧Ⅱ種に指定されている事なども教えました。当日は県内各地から20組が参加。なかなかメダカが網に入らず苦戦しながらも、メダカの習性を生かしてすくっていました。捕ったメダカは各家庭で飼育することができ、参加者たちは大切に持ち帰っていました。

町内の参加者は「今回で参加は2度目。こんなに多くの生き物があると知って驚いた。とてもいい体験ができた」と満足した表情で語りました。

## 人・自然・農地を後世に 引き継ぐ地域づくり 農事組合法人よなだ

農事組合法人よなだは8月25日、同組合法人設立総会を米田公民館で開催しました。

当日は、佐藤町長をはじめ関係者53人が参加。第1次3カ年計画(案)の承認についてなどが議事として挙げられました。

この組合は米田地域の人・自然・農地を後世に引き継ぐ地域づくりを基本方針とし、理念として①耕作放棄地の予防、解消②農地の利用権設定推進による集積と作業農地の集約③水田フル活用の推進④農業機械の整理合理化を重点実施事項としています。今後は3年間で主食用米を18.0ヘクタール、生産数量1,440俵などの作付を計画しています。



▶総会に出席した関係者の皆さん



▶ITプログラミング体験をする子どもたち

## 楽しい夏休みの思い出に 町社会福祉協議会

町社会福祉協議会(佐藤安彦会長)は8月8日から3日間および8月22日から3日間、「ひまわり教室」を町内小中学生対象に農業就業改善センターで行いました。

これは、同世代の子どもが集まり友だちを作る場を提供し、世代間の交流を通して思いやりの心を育むことを目的として開催。当日は中学生やボランティアスタッフなどの協力を得て行われ、食育学習や福祉体験などを行いました。最終日には熊本県職業能力開発協会との合同企画「ものづくり体験教室」も行われました。

田中里奈さん(関外目)は「ボランティアで参加。小学生のときに参加し、みんなと一緒に体験することが楽しかったから参加した。お菓子も美味しくできてよかった」と充実した表情で話しました。